

20 世紀半ばに『抗生物質』やワクチンが医療に応用されはじめたころから、人類はいったん感染症の脅威を忘れていたようです。

そこに今回の新型コロナウイルス感染症が蔓延し、生物学的な種としての人類の存続が脅かされる、というほどではなさそうなものの、人類社会は深刻なダメージを受けています。社会の在り方はこれまでと全く違ったものになってしまい、もう元に戻ることはなさそうです。

ワクチン開発などは医学のプロフェッショナルに任せるとして、我々一般市民にできることは何があるのでしょうか。まっさきに思いつのが三密に代表される「新しい生活様式」と、消毒による環境衛生です。コロナ禍の世の中で、消毒薬に関する虚実入り乱れる情報が飛び交う中で正しい判断をするためにはどう考えれば良いのでしょうか。

そのためには、消毒薬に関する正しい知識と使い方を覚えておくのがよいかもしれません。我々がこれまでに行なってきた感染症の予防を目的としたうがいや手洗い、消毒による環境衛生、消毒薬の効果などについての研究を紹介しながら、コロナ禍で我々ができることを考えてみたいと思います。

コロナ禍の 消毒薬の使い方

日時

令和2年 10月 13日(火)

17:15~19:00

会場

愛知教育大学 教育未来館 3F 多目的ホール

対象

本学教職員、学生、一般（高校生以上）

講師

養護教育講座 准教授

岡本 陽 OKAMOTO Akira

●講師プロフィール

名古屋大学で教鞭をとった後、2012年より本学講師、2014年より准教授。専門は細菌学、分子生物学。博士（医学）。

参加無料
申込不要

お茶とお菓子を用意して
お待ちしております

CHOCOLATE